

(第3種郵便物認可)

この六月末で千秋楽になつた十二代目團十郎襲名披露興行は、連日の大入り満

員。歌舞伎座

は三十億円も

の売り上げを

得たそうで、

営業的には大

成功だったと

いう。

新・團十郎

も肩の荷をおろしてアメリカ

力興行に旅立っていった

が、さて肝心の演技につい

ては、いま一步といった見

方が多い。興行人気の順位で、唯一の新作「若き日の信長」がパツとしなかつたことも気にかかる。

論家を集めて「歌舞伎は生き返るか?」という興味深い討論をおこなっている。今尾「台詞を覚えなくて

なべて役者にたいする厳しい意見で、興行成績と歌舞伎評論とはまるつきり正反対だ。

今回の團十郎襲名に寄せ、このところ歌舞伎評論

もお客は入る、お客がくれば出演料は入る、その悪循環

ではないのか。たとえば、「助六由縁江戸桜」で吉原

### 歌舞伎と評論

が盛んだが、「朝日ジャーナル」七月五日号は最近の

「観客の一過性からくるこの雑誌に似合わず、今尾

は、六本木のスナックなら

哲也、野村喬、権藤芳一、

の若い役者は、……歌舞伎

遊ぶという経験がないのだ

如月青子、堂本正樹、服部

の伝統的な演出の知識が非

常に乏しい」などと、おし

幸雄といった中堅の演劇評

論が非

常にと

常にと

おし

しがたいのだ。(幕見席)

しがたいのだ。(幕見席)

しがたいのだ。(幕見席)

しがたいのだ。(幕見席)